


 みのべばし  
見延橋

見延橋は、中国横断自動車道岡山・米子線が一級河川横谷川を横過する位置に架橋される5径間連続PCラーメン箱桁橋です。

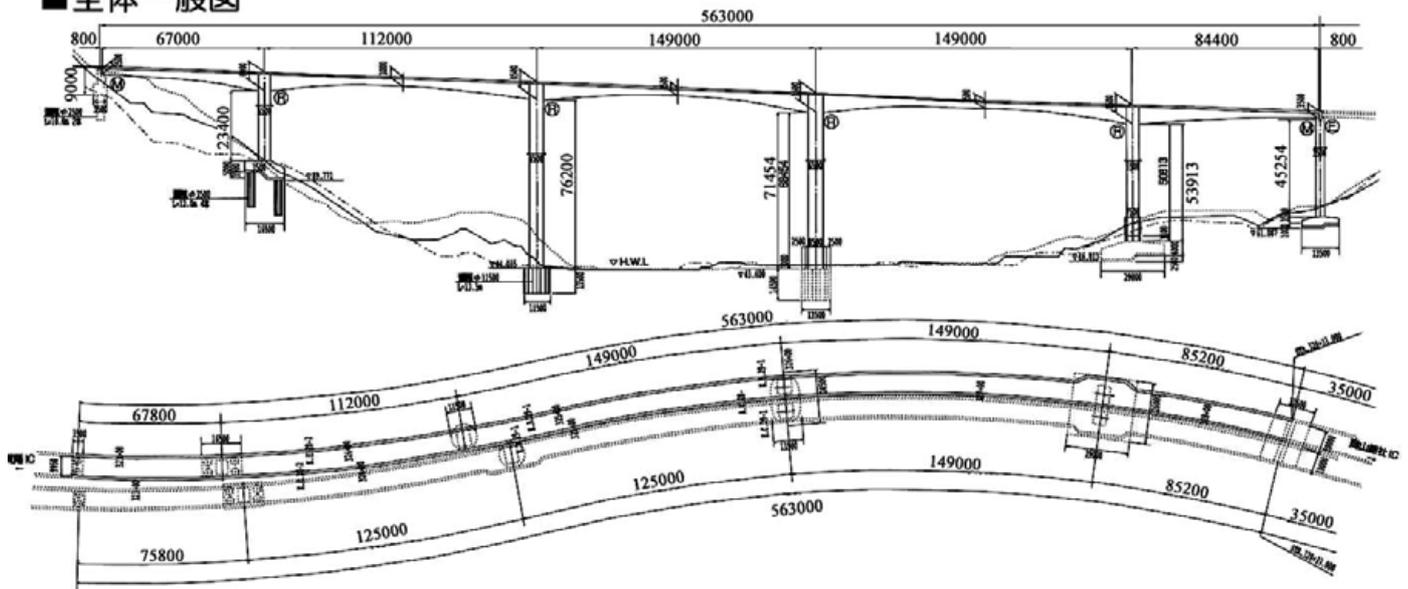
下部工は、最高橋脚高76.2mの高橋脚をはじめとするすべての橋脚に、鋼・コンクリート複合構造を採用しており、ハイブリッド・スリップフォーム工法で施工されました。

上部工は、主ケーブルのすべてを大容量外ケーブル(27S15.2)とした全外ケーブル構造を採用しています。架設ケーブルの定着突起は実物大試験により耐荷力を確認し、中空PC鋼棒による補強を施しています。



## 一般図

## ■全体一般図



## 橋梁諸元

工事名：中国横断自動車道 見延橋工事

発注者：日本道路公団中国支社

位置：岡山県総社市見延

道路区分：第1種第3級B規格 (V=80km/h)

構造形式：5径間連続PCラーメン箱桁橋

荷重：B活荷重

橋長：563m (67.8m + 112.0m + 149.0m × 2 + 85.2m)

有効幅員：9.140m ~ 8.665m

PC鋼材：主ケーブル (外ケーブル) SWPR7B 27S15.2B (ディビダーク工法)

床版、横桁横締め鋼材 SWPR19 1S21.8 (SM工法)

定着突起補強用中空PC鋼棒 30T (NAPP工法)

## 設計概要

### 1) 下部工

- 橋脚は、鉄筋コンクリート断面に鋼管を配置し、帯鉄筋に螺旋巻き高強度鋼より線（PCストランド）を採用した鋼・コンクリート複合構造橋脚です。

### 2) 上部工

- 外ケーブルは大容量ケーブル（27S15.2）エポキシ PC 鋼より線を採用しています。
- 架設ケーブルは、上床版とウェブ付近に配置された三角形形状の定着突起によって定着されています。定着突起の設計は、FEM 解析により形状、補強方法を決定し、定着部実物大試験によりその耐荷性能の確認を行っています。補強には、中空 PC 鋼棒（NAPP 工法 30T）を採用しています。

完成予想図



定着部 実物大実験

## 工程表

	平成11年度			平成12年度												平成13年					
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
詳細設計、実験など																					
下部工																					
上部工																					
橋面工																					
附属物工																					
片付け																					